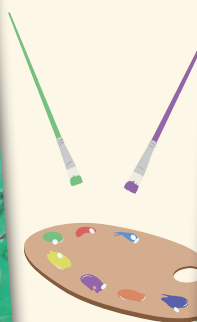


浄土宗保育協会機関誌

令和8年
Vol.63

ののさま
ありがとう

浄土宗 保育



ご挨拶 浄土宗保育協会理事長 村上真瑞

「令和8年度を迎えてご挨拶」

園訪問 こざかいこども園（愛知）

全国研修会報告

第48回浄土宗保育協会全国研修会

京都大会



事業報告・関東地区、九州地区研修会報告・帰敬式・ホームページ紹介

ご挨拶	1
令和 8 年度を迎えてご挨拶	
浄土宗保育協会理事長：村 上 真 瑞	
園 訪 問	2
こざかいこども園（愛知）	
令和 7 年度事業報告	4
令和 7 年全国研修会報告	6
第 48 回 浄土宗保育協会全国研修会 京都大会	
社会福祉法人みみづく福祉会 みみづく保育園 園長 北川 寛信	
関東地区研修会報告	8
令和 7 年 6 月 27 日（金）～28 日（土）	
会場 栃木鬼怒川パークホテルズ	
九州地区研修会報告	9
令和 7 年 6 月 28 日（土）～29 日（日）	
会場 福岡ガーデンパレス	
帰敬式	10
令和 7 年度 表彰対象者	11
法然さまお誕生・花まつり協賛	12
ホームページ紹介	13
第 49 回全国研修会案内	14

令和八年度を迎えてご挨拶

浄土宗保育協会理事長

村上真瑞



令和六年度より浄土宗保育協会理事長に就任して二年が経ちました。一年を振り返ると、鬼怒川温泉にて関東地区研修会に参加、続いて福岡ガーデンパレスにて九州地区研修会に参加、松阪市フレックスホテルにて東海地区研修会に参加、ホテルオークラ京都・総本山知恩院にて浄土宗保育全

国研修会に参加、猊下の御垂示をいただきました。また、福岡久留米善導寺にて帰敬式等に参加、台下の御垂示をいただきました。各地区でそれぞれの特徴有る研修にその都度新しい発見があり有意義な研修でした。とくに、京都での全国研修会では、ご高齢伊藤唯眞大僧正猊下による二十分にも及ぶ御垂示をいただき、命を大切にすることをお説きくださり、大変感激いたしました。また、伊勢教区の松阪では、江戸時代松阪は伊勢の国ではなく紀伊の国であったことも新しい発見でした。

さて、令和八年度を迎え

てまず取り組みなくてはならないことは、『浄土宗保育指針』の改訂です。現在の保育指針を出版したのは、第十二代理事長白簾文雄先生の時、私が企画委員長を拝命していた平成二十五年でした。すでに十二年の歳月が経っています。時代の変遷は止まるどころを知らず、十二年前にはこども園は存在しませんでしたが、現在はこども園が主流となりつつあります。また、保育指針は十年をめどに改訂してきていますから、すでにその時期を超えています。新しい『浄土宗保育指針』を出版すべく、準備を重ねて、内容あるものに完成させたいと思います。よろしくお願い致します。概略を説明します。

「浄土宗保育の理念」

佐藤和順先生

「法然上人の教えと日常保育」

祖父江 霊完先生

「浄土宗保育の年間行事」

和田 典善先生

「お釈迦様の生涯と教え・大乘佛教と浄土教・法然上人の御生涯と教え・浄土宗保育と十二ヶ月の徳目」

村上 真瑞

「浄土宗保育のQ&A」

高橋 司先生

及び、各質問には、専門性の高い先生が答える。

「浄土宗保育の曲と楽譜、

浄土宗保育のパネルシアター」

高橋

司先生

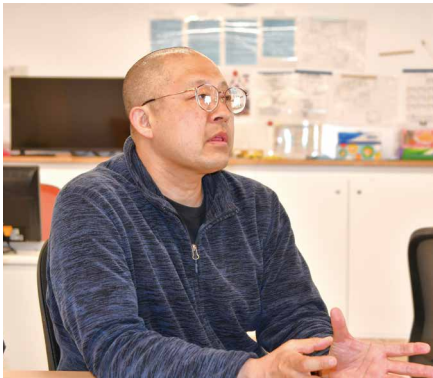
というような内容になると思います。新しい『浄土宗保育指針』の完成に向けて頑張っています。どうかよろしくお願いいたします。

園 訪 問

◆ こざかいこども園 ◆

2025年4月に新設されました愛知県豊川市にある、認定こども園「こざかいこども園」に訪問し、施設長の松野 慶子 先生と黒野 昌康 上人（三河教区豊川組 神泉寺 住職）にお話を伺いました。

豊川市から初めて民間移管された施設



黒野 昌康 上人

愛知県豊川市小坂井地区にある認定こども園「こざかいこども園」は、豊川市から初めて民間移管された施設である。もともと小坂井地区で保育園を運営されていた社会福祉法人清源会（黒野昌寛理事長）が新たな運営母体となつて二〇二五年四月にスタートした。

新築の園舎を是非拝見したいと取材を申し込んだところ快く迎え入れていただ



園庭

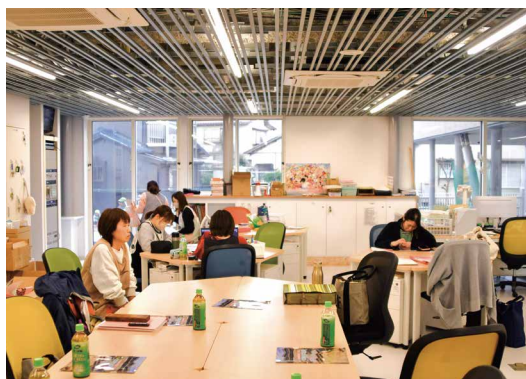
き、（三河教区豊川組 神泉寺 住職）認定こども園美園こども園 園長 黒野 昌康 上人と、こざかい子ども園施設長 松野 慶子 先生がインタビューにに応じて下さった。

一戸建て住宅が並ぶ閑静な住宅地に立つモダンな二階建ての園舎。お寺と園は二キロほど離れているらし



玄関

い。市から民間移管された施設であるため仏教園としての面影はない。ホールにも保育室にも「ののさま」は祀られていない。仏教行事についても特別なことはせず、お話しのみ。新しく設置された施設では仏教園としての独自性を出し難い。こざかい子ども園でも行政や地域住民と折り合いをつけながら仏教保育の在り方を模索する日々が続いているそうである。



職員室

玄関を入ると、非常に開放的で、明るく、清潔感に満たされた気持ちの良い空間が広がっていた。必要以上の掲示物も無く非常にスッキリしている。隣接した職員室はまるでオフィスのよう。複数の台形のテーブルは、その組み合わせ次第で様々な大きさや形に変化したり、個別にタブレットやパソコンに向かったり、思い思いに仕事をしている。

〽️ どの子にも居場所がある心地よい空間 〽️

一階には〇〇二歳児、二階には三〇五歳児の保育室がある。一階は職員室から乳児クラスや園庭がよく見える。どの部屋も広々として開放的で清潔感があり大変気持ちがいい。保育室の天井はアルミフレームが等間隔に並び、その合間からむき出しの電気配線やダクトなどが見えている。スタイリッシュな印象を受けるが、お昼寝の場所にはやさしい薄桃色の天蓋をかけ、無機質な天井に柔らかな印象を与えられるように工夫しながら、細部にも高いデザイン性を有している。クラスのネームプレートも完成品として販売しているものではないそうだ。

廊下や階段などの共有スペースはかなりゆったりと作られている。本来保育室にあるロッカーなども廊下に置か



特徴的なコーナー

れ、保育室と廊下の境界線がよい意味で曖昧になっている。毎日子どもたちの遊びはお部屋を飛び出して様々な場所できり広げられているに違いない。異年齢の交流も増えそう。その広い廊下に一か所だけ壁や棚で仕切られた隠れ家のような小さなコーナーがある。トンネルのような入口があり、絵本コーナーのようでもあるが、特定の目的の

ためのコーナーではないらしい。心が落ち着く空間でもあり、様々な遊びを創造できそうな空間。子どもたちは普段この場所でのように過ごしているのだろうか。設置者の思いがこもった象徴的な場所だと黒野上人に教えていただいた。

どの子にも居場所がある。子どもたちだけでなく、先生たち、送り迎えに来る保護者、地域の人々、訪れる人々がその居心地の良さを実感する。「子どもたちの元気な活動風景が周辺地域に溶け込み、今まであった保育園の記憶を継承しつつ、子どもたちの領域を守りながら開く、地域とさらなる密接な関係を築き上げることも園を目指している。」と、教えて下さった。

人と人が結びつく素晴らしい保育環境がこれからも続いてゆく。

令和七年度事業報告

(一) 全国研修会 併修…近畿地区研修会

日時 令和七年十一月二十八日(金)～二十八日(土)
会場 京都ホテルオークラ・大本山増上寺
担当 京都教区西村 宏堂 先生
講演「瞬間に生きる子供と保育者」
佛教大学教育学部幼児教育学科教授
小林みどり 先生

「性別も人種も関係なく皆平等」

浄土宗僧侶・メイクアップアーティスト

LGBTQ活動家

西村 宏堂 先生

総本山知恩院 御門主猊下ご拝謁と諸堂拝観

「御十念 抱かれて子は育つ」

浄土宗総本山知恩院第八十八世門跡

伊藤 唯眞 猊下

参加者数一〇八名

(二) 帰敬式

第二十九回浄土宗保育協会加盟施設教職員のための
帰敬式(社会福祉協会共催)

日時 令和八年二月二十八日(土)～三月一日(日)

会場 大本山善導寺

担当 九州地区

勧戒 日下部匡信 台下

勧戒師 安永宏史 師

参加者数三十四名

(三) 教職員交流

・職員派遣型

上目黒桜祐保育園⇄蓮美幼児学園祐天寺ナーサリー

(四) 地区研修会

(北海道地区)

日時 令和八年二月二十七日(金)
会場 報恩寺
担当 北海道第二教区
講演「幼児期における生命尊重を考える」
副学長 佐藤 貴虎 先生

「生命尊重の保育」

住職 寺井一哉 先生

「わらべうた」

園長 小山ひとみ 先生

参加者数十二名

(東北地区)

日時 令和八年三月二十八日(土)
会場 九品寺檀信徒会館
担当 福島教区
講演「超少子化時代における地域と共に歩む園づくり」
経営コンサルタント (株) いちたす

「専称寺参拝 旧名越派惣本山の歴史と文化」

専称寺住職 遠藤弘道 先生

参加者数四十六名

(関東地区)

日時 令和七年六月二十七日(金)～二十八日(土)
会場 栃木鬼怒川パークホテルズ
担当 栃木教区 鮫島良一 先生

講演

「毎月の仏教保育の徳目をどう保育に生かすか？」

栃木教区仏教保育協会会長・学校法人吞竜愛育会理事長

小林 研介 先生

「寺院の地域における活動とその役割とは」

栃木教区法玄寺住職・元足利工業大学教授

元足利工業大学教授 和田 幸信 先生

「子どもたちと表現を楽しむためのエトセトラ」

遊び心と小さな工夫」

鶴見大学短期大学部保育科准教授 同付属三松幼稚園園長

鮫島 良一 先生

参加者数三十名

（東海地区）

日時 令和七年十一月二十二日（土）～二十三日（日）

会場 フレックスホテル

担当 伊勢教区

講演 「楽しい！おもしろい！」

からはじまるあそびの時間」

絵本・あそび作家 浦中こういち 先生

「障害のある人たちと芸術」

NPO 法人希望の園理事長 村林 真哉 先生

「家族と子どもの支援を考えるポイント」

志村 浩二 先生

参加者数六十名

（北陸地区）

開催なし

（近畿地区）

全国研修会併修

（中四国地区）

日時 令和七年十一月二十九日（土）

会場 オールドイングランド道後山の手ホテル

担当 愛媛教区

講演 「保育現場におけるアンガーマネジメント」

（二社）日本アンガーマネジメント協会

インストラクター 須賀 真紀子 先生

「筆ペンに親しもう」

書き方教室書道教室主催 大野 裕美 先生

「発表会に活かせるダンスレッスン」

ダンススタジオ MOGA ダンス教室講師

丸山 陽子 先生

参加者数四十七名

（九州地区）

日時 令和七年六月二十八日（土）～二十九日（日）

会場 福岡ガーデンパレス

担当 福岡教区

講演 「浄土宗保育」

佐賀光明院住職

社会福祉法人『光明会』理事長・若葉保育園園長

中岡 健雄 先生

「縁起が織りなす出会い

ー 未来を変える因縁のチカラー」

スクールカウンセラー・保護司

安永 智美 先生

「愛されている、そう思う子に育ってほしい」

元埼玉県教育委員長 松居 和 先生

参加者数一〇七名

第四十八回

浄土宗保育協会全国研修会 京都大会

日時 令和七年十一月二十八日(金)～二十九日(土)
会場 一日目 ホテルオークラ京都／二日目 総本山知恩院
参加 一日目 一〇八名／二日目 六十七名

一日目 開会式

開会式は、以下の次第に沿って厳かに執り行われました。

まず、大会実行委員長・信ヶ原雅文氏より開会のことばが述べられ、続いて浄土宗保育協合理事長・村上真瑞氏を導師、吉澤玄瑛氏を維那としてお勤めが行われました。

その後、主催者を代表して浄土宗保育協合理事長・村上真瑞氏より挨拶があり、来賓として宗務総長・川中光教氏から祝辞を賜いました。来賓紹介は司会より行われ、閉式をもって開会式は円成いたしました。



開会式会長挨拶

研修①

「瞬時に生きる子どもと保育者」

講師 小林みどり先生



小林みどり先生

全国研修会は、小林みどり先生による研修からスタートしました。研修では、会場に保育中の光景が写し出された写真を用い、その一枚に収められた子どもの行動、友達との関わり、保育者の姿など、写真の中に広がる『保育の物語』を丁寧に読み解いていきました。

先生は「今、急ぎ過ぎていない?」という問いをキーワード

に掲げ、「モノを動かす保育」について深く掘り下げられました。

現代はAIの発達により情報提供のスピードが加速していますが、私たちの保育では、子どもの『一瞬』を大切に扱い、その瞬間に子どもが何を学んでいるのかを『教育的瞬間』として捉え、時間をゆつくり使い丁寧に関わる姿勢が求められます。

また、『啐啄同時』のように、子どもの姿と保育者の思いが重なる瞬間を見逃さず、子どもの動きを予測しながら駆け引きを楽しむことの大切さが示されました。子どもを言葉だけで動かすのではなく、「モノを動かす」ことで環境や状況を整え、子どもの主体的な動きを引き出していくことが保育者の役割である



研修1日目

と語られました。

もちろん、言葉がけが重要な場面もあります。保育者の言葉がけは『マジック』であり、尊い子どもの成長にそのマジックが加わることで、今日も全国の現場で素敵な保育の瞬間が切り取られている―先生はそのように力強く話されました。

研修②

「性別も人種も関係なく皆平等」

講師 西村宏堂先生

続いている研修は、浄土宗僧侶であり、メイクアップアーティストであり、LGBTQの一員として性別も人種も関係なく皆平等というメッセージを発信されている西村宏堂先生の講演。幼少期から現在に至るまでの人生経験を通して、「誰もが大切な存在であり、自分らしく生きることの価値」を伝えるものでした。幼い頃から性別や外見への違和感、社会の『理想像』に沿えない苦しさを抱えてきた西村氏は、十八歳で渡米し、多様性を肯定する文化に触れたことで、自分らしさを探す一歩を踏

に出されました。

留学先のアメリカでは外見や人種に対する新たなコンプレックスも生まれましたが、日本人がミス・ユニバース世界一になったニュースをきっかけに、「美しさは人種で決まらない」と価値観が大きく変化。自分をどう表現するかを学びたいという思いからメイクアップの道に進み、師匠のもとで技術だけでなく「自分を大切にする姿勢」を学んだことで、自己肯定感が育っていったと語られました。

印象的だったのは、世界大会で出会った南アフリカ代表のスピーチ。「自分と同じ髪質や肌の色の人に自信を持ってほしい」という言葉が多くの人を勇気づけ、美しさとは外見だけで



西村宏堂先生

なく、人を励ます力にも宿ると実感したそうです。

講演では、保育や人との関わりに通じるヒントも紹介されました。参加者同士が褒め合う「ほめごろしゲーム」では、褒められることで心が開き、自分を好きになれるという体験を共有。また、自己肯定感が人を好きになる土台となり、「嫌い」という感情も丁寧に見つめ直すことで意味を持つという視点が示されました。

今回の研修を通して、ありのままの自分を認め、互いの違いを尊重し合うことの大切さを改めて感じる時間となりました。多様性とは違いを我慢することではなく、その違いがあるからこそ力を合わせ、より良い社会をつくる視点であることが心に残りました。最後に西村氏は「悩んできたからこそ、多様な背景を持つ人に寄り添える存在でありたい」と語り、研修は温かい余韻の中で締めくくられました。

二日目は、透き通る青空の

下、六十七名の参加者とともに浄土宗総本山・知恩院の山門、御影堂をはじめとする諸堂を拝観し、七不思議や長い歴史に触れる貴重な時間となりました。ご案内いただく中で、徳川時代の様子を細やかにお伝えいただき、まるでタイムスリップしたかのようなひとときを味わうことができました。

その後、古経堂にて浄土門主・総本山知恩院第八十八世門跡伊藤唯眞親下より、御十念ならびに貴重なお話を賜りました。お話の中で親下は、河野愛子氏の詩「子は抱かれ みな子は抱かれ 子は抱かれ 人の子は抱かれて生くるもの」をご紹介され、「保育という営みは、すでに母親のお腹の中から始まっている



御門主親下の御垂示

のではないかと語られました。命は胎内ですでに息をし、命あるものはその命を全うしなければならぬ。次世代を担う子どもが健やかに育ち、互いを思いやり、さらにその先の世代へ命をつないでいくためにも、「子は抱いて育ててください」と、私たちに静かに語りかけるようなお言葉を頂戴いたしました。

閉会式について

閉会式は、司会の進行により肅々と執り行われました。はじめに閉会が宣言され、続いて研修会永年勤続表彰が行われ、代表職員へ村上理事長より表彰状が授与されました。

その後、主催者挨拶として、同じく村上理事長より代表職員へ感謝と激励の言葉が述べられました。最後に司会より閉会式のことばが述べられ、今回の研修会は滞りなく終了いたしました。

社会福祉法人みみづく福祉会
みみづく保育園

園長 北川寛信

関東地区研修会報告

参加者の感想

関東地区研修会に参加して

香電幼稚園 阿部明子

この度は、貴重な研修を受けてさせて頂きありがとうございました。

①「徳目をどう保育に生かすか？」では、まず徳目という物が私たち保育者の人としての部分で考えさせられました。「すべては願いや思いから始まる」という言葉にとっても共感しました。これからも頭や心の整理をする事に徳目を生かしていきたいと思いました。

②の講義では、古い良きものを継承していくためには、様々な変化や工夫を常に考えていく事だと感じました。そして様々な人を巻き込み伝えていく…、これは保育にも使っていかなくてはと思いました。

③の講義では、表現とはどう支えるか、どんな表現も気づか

なければ「ない」と一緒という言葉に感銘を受けました。すべて気づきが大切だと思いました。そして、写真を使った研修を私も職員とやってみたいと思いました。

二日間ありがとうございました。

関東地区研修会に参加して

代沢みころ保育園 小田切順子

まず自然豊かな鬼怒川で開催して頂き、身も心もリフレッシュする中で有意義なお話を聞かせていた事、司会、役員の皆様私たちの為に力を尽くして下さいました事に感謝しております。

講演の中で印象に残った事は沢山ありますが、日本の伝統や文化を守る者として寺や仏教教育が担うべき役割、生きている人の為に集える場所になることの必要性は深く胸に刻まれた気がしています。現代人にとって少し遠い存在である仏教を保育

の中にどう取り入れ、生涯に渡る生きる力の基となる心や考え方を伝えていくのが、現場の私達に託されている身近な課題ではないかと再確認しました。

子供が「生きている、楽しい、面白い」と感じられるように、様々な形で表現したことを見逃さずしっかりと受け止められる対応と環境作りに努め、保育者も自らの保育をしっかりとみつめ、振り返り、発展させ成長することに喜びややりがいを見い出せるように、しっかりとサポートして行きたいと考えています。研修ありがとうございました。

二日間に渡り、大変楽しく学べる研修会に参加させて頂いたばかりありがとうございました。どの研修もよかったのですが、特に二日目の鮫島先生の「子どもたちと表現を楽しむためのエトセトラ」遊び心と小さな工夫」が印象的でした。毎日の保育でつい時間に追われてこども達との会話がなくなるようになってしまったり、私自身も遊び心のある保育が足りなかったりしています。この研修で改めて遊び心が大切であるということが感じました。最後に皆でたくさん写真を選ぶ時、楽しんで園生活を送っている子どもたちの様子が手に取ってわかりました。ぜひ私たちの園でも実践したいなと思いました。

そして温泉、おいしい食事付きの研修最高でした。

身の心もゆったりと出来、また後日の保育の活力になりました。また今度ぜひ参加させていただきます。

ありがとうございました。

関東地区研修会に参加して

祐天寺付属幼稚園 鈴木みゆき

二日間ありがとうございました。

どの研修もよかったのですが、特に二日目の鮫島先生の「子どもたちと表現を楽しむためのエトセトラ」遊び心と小さな工夫」が印象的でした。毎日の保育でつい時間に追われてこども達との会話がなくなるようになってしまったり、私自身も遊び心のある保育が足りなかったりしています。この研修で改めて遊び心が大切であるということが感じました。最後に皆でたくさん写真を選ぶ時、楽しんで園生活を送っている子どもたちの様子が手に取ってわかりました。ぜひ私たちの園でも実践したいなと思いました。

そして温泉、おいしい食事付きの研修最高でした。

身の心もゆったりと出来、また後日の保育の活力になりました。また今度ぜひ参加させていただきます。

ありがとうございました。

九州地区研修会報告

感想

『浄土宗保育協会研修を終えて』

明願寺幼稚園 有田 三里

- 一、中岡健雄先生のご講演
- 一、安永智美先生のご講演
- 一、意見交換会（懇親会）
- 一、松居和先生のご講演

中岡先生の講義で強く印象に残ったことは「子ども達はルールよりもそれを教える先生との信頼関係に従う」というお話です。自分達がどれくらい子ども達と信頼関係が築けているのかもう一度考え直す良いきっかけとなりました。愛情を注ぐだけではなく注ぐ相手がいる事も大事というお話にはっとさせられ、またクスツと笑えるお話にも引き込まれました。

安永先生の講義で強く印象に残ったことは、問題を抱えている子どもの視点としてリフレミングという方法があるというお話です。問題を抱えている子どもは、見方を変えれば困って

いるということ。「見方」を変えて「味方」になることで子ども達の自尊心感情をはぐくんでいけることがわかりました。

そして相談されたり虐待に気づいた時の具体的な対応方法（オープンクエスチョン）も勉強になりました。悲しい事件の被害者である子ども達の声を忘れることなく日々の保育の中で気になることがあった場合は園長に報告などしたいと職員間で話をしました。

松居先生の講義で強く印象に残ったことは、子どもにとつてママが一番であり、たとえ初めて出来た事が幼稚園の中であっても親に初めての瞬間をあげて下さいという言葉でした。子どもが泣いた時、なぜ泣いているのか考え色々試行錯誤するだけで平和な空間になり、私たちが無心になれた時子どもが落ち着いたり、祈りの世界にも似ているという事も納得出来ました。

二日間で学んだことを日々の保育で忘れることなく、ただ傍にいてだけで幸せを与えてくれる子どもたちの成長を近くで見守れるこの仕事を大切にしていきたいとおもいます。

『浄土宗保育協会研修を終えて』

芦屋中央幼稚園 瓜生 幸樹

コロナ禍を経て、久しぶりの研修会とはとても有意義なものでした。

中岡先生のユーモアを交えた講演の中で、ルールよりラポール（信頼関係）に従う子どもとの関係性についての話が心に残りました。

又、安永先生ご自身が少年少女の更生に関わる中で体験談には、心が押しつぶれそうになりました。子ども達の心の叫び、そして、犯罪に巻き込まれる低年齢化。そのような現状を踏まえ、これからの幼児教育、保護者支援にどのように向き合っていくかの指標ができました。

松尾先生の「自分は愛されている。」と思える親子関係の在り

方について、自分自身を振り返りながら考えさせられました。

三人の講師の方々に共通していたのは、親目線ではなく子ども目線の講話であったように思います。私は、幼稚園と保育園の二園を運営しています。その理念は『主人公は子どもです！』しかし、日々保育している中で思うことはあっても親に話せないこともあります。そこを一步踏み出して保護者に伝えるべき事もあるのだと、自分に言い聞かせました。

昔、近江商人は「売り手よし。買い手よし。世間よし。」の理念で全国を行商されました。「園児よし。保護者よし。保育園よし。」そんな園経営ができるようになりたいと思います。

第29回

帰敬式

令和八年二月二十八日(土)～三月一日(日)
会場 久留米市大本山善導寺・担当 九州地区

帰敬式を終えて

月かげみどり保育園 田中 愛菜

今回、帰敬式に参加し、貴重な体験をさせていただきました。参加するにあたって、どのような場所なのか、どのような事をするのか分からず、少し不安だったのですが、安永上人やお寺の方々が丁寧に教えてくださり、安心して参加する事ができました。また、大本山善導寺の大きさや歴史も教えていただき、建物の歴史や、どのようなお寺なのか知る事ができました。

私自身、京都府出身ということもあり、お寺などが身近にあり、地藏盆などで今回お話にあった『数珠回し』の経験もありました。また、仏教の高校を卒業しており、お寺での行事に参加したことがありました。ですが、授業の一環として参加していたので、どういう思いで参加すべきか何も分からないうままでした。今回、講義で仏教について(三法や開経偈、お釈迦様について)学んだ上で帰敬式に参加し、お釈迦様に想いを伝える

という気持ちを中心に置きながら参加する事ができました。

帰敬式では帰敬式前の身の清め方、手から上半身、下半身、頭の順番で全身を清めてから帰敬式に向かうという意味がある事を教えていただき、意味を考えながら行う事ができました。また、手の平にお釈迦様の御御足が乗っていると思い、礼拝をするという意味を知りました。その後の献灯では、自分で蠟燭を持っている時は、少し暗いと感じていたのですが、皆さんの蠟燭が集まると各々の想いも相まって明るく感じました。お話でも、「一つ一つは小さな灯火だが、集まれば大きな灯火となる」と仰っており、まさにその通りだと思いました。

また、言葉の意味や講義を通して、『南無阿弥陀仏』という言葉や、心を無にして言うようにはしていたのですが、無になる事は難しく気付けば何かを考えている自分がありました。

講義の中で印象に残っている事は、『幸せは探すものではない気



付くもの』『見えにくいものに気付く眼差しを持つ 学び続ける人となる』という言葉です。保育をする中でも、幸せを探すというより、子どもたちと過ごす中で、起こった事に対して幸せを感じる。気付く事が多いという事に改めて気付きました。この気付きを日頃の保育の中でも頭に入れながら、子どもたち一人一人と関わっていきたいと思います。

帰敬式を終えて

明願寺幼稚園 有田 三里

今回でなんと三回目の帰敬式。

初めて参加した時は、帰敬式がどのようなものかもよくわからず、とても緊張していたことを覚えていいます。しかし今回は帰敬式の意味や、仏様の教えについて、これまで以上に深く考える大切な機会

となりました。
そして、ただ式に参加するだけではなく、自分自身のこれまでの生活や考え方を振り返りながら参加することが出来ました。

安永宏史上人の講義では、時事ネタを織り交ぜながら、とても分かりやすく、そして面白くお話をして下さり、時間が過ぎるのがあっという間でした。最後に聞けなかった話の続きをいつか聞いてみたいなど思っています。

日々の生活の中で、自分の事ばかり考えてしまったり、周りの人への感謝の気持ちを忘れてしまうこともあります。しかし帰敬式に参加することで、自分が多くの人や様々なご縁に支えられて生きている事に改めて気付く事が出来ました。また、仏様の教えは日常生活の中でこそ大切にしていかなければならないものだと感じました。

これからも仏様の教えを心に留め日々の生活の中で感謝を忘れず、周りの人とのご縁を大切にしながら過ごしていきたいと思います。そして帰敬式で感じた気持ちを忘れず、まだまだ成長していけるよう努力していきたいと思っています。

令和7年度 永年勤続表彰対象者

10年

- 【岐阜教区】安養福祉会 むつみこども園：高橋 梨緒
あおいこども園：白木 めぐみ、山下 梨緒、
- 【滋賀教区】大將軍ひかりこども園：福村 由美 / ひかりこども園：平松 真依、和田 なおみ
一里山ひかりこども園：山野 夏世、北村 麻奈、越智 早紀、藤本 由起子、
松田 萌、宇野 彩織
- 【京都教区】東山幼稚園：今井 睦月、堀田 良美 /
月かげ保育園：坂之下 彩香、戸田 智子
- 【大阪教区】光聖会 蓮美幼児学園たにまちナーサリー：坂本 実加
蓮美幼児学園西小山ナーサリー：北川 ほたる
蓮美幼児学園祐天寺ナーサリー：新莊 美矢子
蓮美幼児学園京町堀プリメール：薮野 麻衣子 / 蓮美幼児学園本園：乾 忍
蓮美幼児学園第2とよすナーサリー：廣本 祥子、田中 宏子、加藤 恵、菊地 健太
勢至学園西九条園：荻野 桃実
- 【兵庫教区】幼保連携型 つきかげ認定こども園：名倉 茜、大戸 夏美
道場保育園：佐藤 有美、大崎 由紀子
- 【広島教区】認定こども園 ハイロスハイマ：笹田 聡子
- 【長崎教区】聖徳保育園：金子 孝司
- 【三州教区】まいづるこども園：酒匂 志穂 / 新光こども園：東村 望

20年

- 【茨城教区】文間保育園：川上 美代子 / 東文間保育園：杉山 典子
- 【岐阜教区】安養福祉会 あおいこども園：渡邊 弥生
- 【滋賀教区】ひかりこども園：稲田 早紀 / 大將軍ひかりこども園：伴 知香
- 【京都教区】東山幼稚園：久見 かおり
- 【大阪教区】光聖会蓮美幼児学園本園：野寺 博展、伊藤 恵美子
- 【兵庫教区】道場保育園：齊藤 香織、嶋田 清美
- 【広島教区】認定こども園 西部めばえ：杉岡 直美 / ハイロスハイマ：猪原 由紀、駒村 圭美
めばえ幼稚園：佐藤 麗、横田 恵美

30年

- 【青森教区】鶴田学園 ひなづる幼稚園：成田 ふじ子
- 【埼玉教区】認定こども園 あずま幼稚園：丹羽 美津恵
- 【神奈川教区】認定こども園 めぐみの丘幼稚園：佐藤 千穂
- 【滋賀教区】一里山ひかりこども園：堀井 由紀子、松田 杉子
- 【大阪教区】蓮美幼児学園本園：シュミット マーク
- 【兵庫教区】道場保育園：木下 裕美
- 【広島教区】認定こども園 ハイロスハイマ：中谷 綾子

40年

- 【岐阜教区】安養福祉会 あおいこども園：安藤 成美
- 【尾張教区】放光福祉会ひかり保育園：西村 秀輝

法然さまお誕生花まつり 協賛広告

浄土宗保育協会理事長
建中寺幼稚園 理事長
村上 真瑞

浄土宗保育協会副理事長
宗教法人 光聖寺 住職
秋田 光哉

浄土宗保育協会副理事長
祐天寺附属幼稚園設置者
巖谷 勝正

宗教法人西願寺
丹羽 義昭

明願寺幼稚園 理事長
花田 郁実

神田幼稚園 理事長
友松 浩志

川南幼稚園 園長
多賀 学昭

社会福祉法人 大慈会
認定こども園かんざおん 理事長
金田 明伸

藤田保育園 理事長・園長
後根 泰定

社会福祉法人 星徳学園
理事長
松本 兼典

今泉保育園 園長
樋口 威道

龍光寺
神宮 良弘

耕逸山児童福祉協会
耕逸山たごども園 園長
加藤 隆明

副園長
水谷 真彦

宗教法人 城前寺保育園 園長
皆川 節子

社会福祉法人 いまいずみ
鶴の木いまいずみ保育園 園長
荒牧 匠平

社会福祉法人 北串会
北串保育園 理事長
中路 秀彦

月かげみどり保育園 園長
浦田 裕人

宗教法人法龍寺
月映保育園

山科幼稚園

西念寺こども園

だん王保育園

だん王夜間保育園

くろたに幼稚園

📶 浄土宗保育協会ホームページができました。ぜひご活用ください。
登録がまだの園は、登録をお願いします。📶



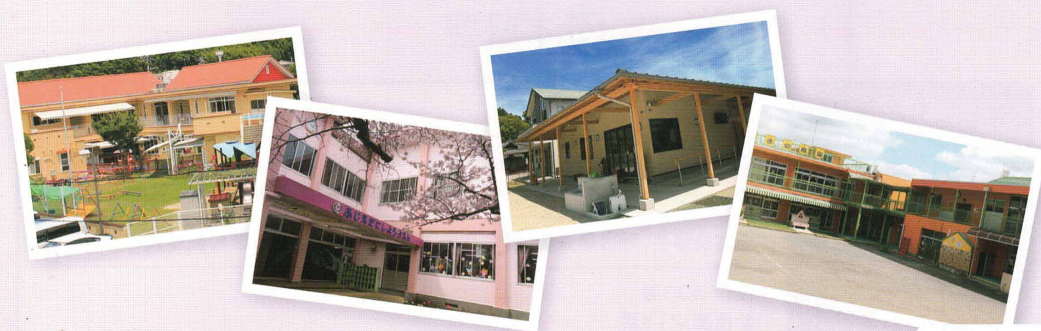
💡 浄土宗保育協会 加盟園で働きませんか？ 💡

仏教系
大学出身
の方歓迎

未経験
の方歓迎

全国の
加盟園

全国に
400
以上の加盟園



浄土宗保育協会

詳細・求人検索はこちら [_____▶](#)



第49回全国研修会

テーマ「継承」

日時

令和8年8月28日(金)～29日(土)

会場

かめ福オンプレイス

山口県山口市湯田温泉 4-5-2

TEL083-922-7000 <https://kamefuku.com/>



日程

8月28日(金)

- 12:00 受付開始
- 12:45 開会式「浄土宗保育について」(浄土宗保育協会理事長 村上真瑞先生)
- 13:30 講義①「耳なし芳一から学ぶ」(琵琶説教師 金森昭憲先生)
- 14:45 講義②「絵本という栄養」(絵本作家 武井史織先生)
- 16:15 講義③「すきま時間を活用～疲労回復ヨガ～」(杉本エミイ先生)
- 18:30 懇親会

8月29日(土)

- 9:30 体験「金魚ちょうちん製作」
- 10:40 フラダンスショー (Luff Aloha)
- 11:15 閉会式

*予告掲載のため、諸事情により内容は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

講師

講義①



金森 昭憲 先生

講義②



武井 史織 先生

講義③



杉本 エミイ 先生

<主 催> 浄土宗保育協会

<担 当> 浄土宗保育協会山口教区支部

発 行 浄土宗保育協会
発行人 村 上 真 瑞
発行日 令和8年7月吉日
制 作 浄土宗保育協会企画委員会
印 刷 中京プリント株式会社

浄土宗保育協会
東京都港区芝公園 4-7-4 明照会館
浄土宗 社会部内 (〒105-001)
TEL 03-3436-3351 / FAX 03-3436-0744
<http://jodohoiku.com/> mail: info@jodohoiku.com